

<b>事業名称</b>	
事業名	通常砂防事業
整理番号	23-6
事業の種類	砂防堰堤の建設
市町村名	南木曽町
箇所名	沼田
事業年度	平成22年度～平成28年度
<b>事業概要</b>	
目的	岩戸沢の流域は、急峻な地形で多数の崩壊地があり、渓床には多数の巨石が存在している。大雨の際は、巨礫混じりの土砂が流出する可能性がある。砂防施設の設置により、下流域の人家13戸(学生寮含む)や避難場所である沼田集会所、2級町道沼田線等の保全を図る。
計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	砂防堰堤 1基(岩戸沢堰堤H=13.0m L=102.5m) 取付護岸工(溪流保全工)L=139m 管理用道路L=324m
関連する事業計画	木曽川右岸道路
その他特記事項	特になし
<b>関係法令等の規制</b>	
自然環境保全地域等の指定状況	なし
土地利用規制の状況	砂防法の砂防指定地
その他	なし
<b>環境要素</b>	<b>環境配慮の方針</b>
大気環境	資材等の運搬ルートは、居住系地域内の走行は出来るだけ避ける。 土砂表層の散水や道路の散水、車両や機械の清掃等を行い粉じんの飛散を防止する。 排出ガス対策型の車両や機械を採用する。 夜間・早朝の資材運搬及び機械の稼働を出来るだけ避ける。 低騒音・低振動型の建設機械を採用する。 防音壁、防音シート、緩衝緑地帯等の遮音設備・吸音設備を設置し、騒音を低減する。
水環境	沈砂池・沈澱池や濁水処理装置等を設置し、濁水や油脂類の排水を避ける。 水道水源、貴重な動植物分布地、取水地点及びすでに汚染が著しい地域等への排水を出来るだけ避ける。 工事仮設事務所からの生活雑排水を適正に処理する。 河川においては下流域の環境の保全のため、正常な流量を確保する。
地形・地質	地形の変更の少ない位置・ルート・工法を選定する。 段階的に工事を行い、広範な裸地の出現を防止する。 工事により裸地化する箇所は早期の緑化・植栽を行う。 工事施工ヤードの設置は必要最小限の面積とする。 工事により一時的に変更する自然環境の原形復旧に努める。
野生動植物	河川・水路に横断構造物を設置する場合は、水棲生物の自由な移動を確保する。 水際部を保全し、自然植生の連続性を確保する。 河川においては瀬や淵の保全又は創出を行う。 回避措置を基本とするがそれができない場合は、重要な植物を生育適地へ移植する又は生育地を創出し移植する。 表土を植生用客土として活用し、在来種による植栽・緑化を行う。 落下した小動物が脱出できる側溝、透過型えん堤、多段式落差工、自然石空張護岸等動植物への負荷の少ない構造を検討する。 自然石、自然素材又は多自然型製品等動植物への負荷の少ない素材を使用する。
景観	工事箇所の整理整頓・美化に努め、仮施設や資材置き場は目立ちにくい配置にする。 周辺地域の環境との調和に配慮した施設の配置・規模・形態・意匠・色彩・素材等を検討する。 樹木の伐採は出来るだけ避ける又は植樹等による緑化に努める。
自然とのふれあい	遊水施設やせせらぎ水路、池、親水護岸、階段や飛び石など水辺空間の整備に努める。
廃棄物・建設残土	建設廃棄物や建設残土の適正処理を行う。 現場発生材の原位置リサイクル等、建設廃棄物や建設残土のリサイクルを推進する。 自然石、県産木材等環境に負荷の少ない資材の使用に努める。
省資源・省エネルギー・温室効果ガス	アイドリングストップ、エンジン回転数の抑制等機械の省エネ運転に努める。 点検整備を行い適正な燃費消費率を維持する。

番号	項目	環境部長の意見内容	事業部局の見解
1	景観	工事に際しては、管理用道路を含め国道19号よりの眺望と自然景観との調和に配慮願います。	砂防堰堤前面に設置するコンクリートパネルについて、周辺の自然景観と調和する色調や風合いのものとし、管理用道路は原則として土羽構造とし、コンクリート構造物は必要最小限とします。 砂防堰堤前面に設置するコンクリートパネルについて、周辺の自然景観と調和する色調や風合いのものとし、管理用道路は原則として土羽構造とし、コンクリート構造物は必要最小限とします。
2	文化財等	① 地域を定めず指定されている天然記念物への配慮が必要と思われるので、確認願います。 ② 工事用車両等の付帯工事箇所を含めた埋蔵文化財包蔵地の有無を事前に確認願います。	① 南木曽町教育委員会、南木曽町役場、沼田区有識者への聞き取り調査及び動植物調査を実施した結果、地域を定めず指定されている天然記念物は確認されませんでした。 ② 南木曽町教育委員会に照会したところ、砂防設備設置予定範囲及び工事用道路等の付帯工事箇所を含めた範囲に埋蔵文化財包蔵地は無いことを確認しました。